

民意を反映する選挙制度に

比例定数削減を許さない宮城の会が街頭宣伝

比例定数削減を許さない宮城の会は2月6日、仙台市内の繁華街（旧みずほ銀行前）で、昼休み時間に宣伝行動を行いました。

各団体の代表らが、マイクを握り、「消費税の引き上げるにあたって国会議員自ら身を削る必要がある」としたまやかしを批判し、「議員定数80議席削減によって、民意が国政に反映されなくなる。少数政党は排除される」危険を訴えました。

11団体作成のリーフレット「課税府（かぜいふ）のノダ」を配布し、署名を訴えました。「政党助成金を削ることが必要だということを、訴えて行くべきではないか」と意見を寄せていく通行人もいました。「国会議員を減らすべき」と言ってきた人にも丁寧に話し込み、署名をしてもらいました。

この行動には、一番町法律事務所、宮教組、高教組、宮商連、国民救援会、新婦人、建交労、民医連、日本共産党、婦人民主クラブ、医労連、県労連、宮城一般の13団体から25人が参加、署名は25人分が寄せられました。

昨年来東北6県で情報や活動の交流・交歓を重ねており、一せいに行動しようという申し合わせにもとづく行動として取り組まれたものです。

比例定数削減を許さない宮城の会は2月27日に総会を開き、学習や宣伝など運動の強化を意思統一します。

「2・2 院内集会&議員要請」

あいさつ・報告・発言・要請結果—⑤

『2・2 院内集会&議員要請』 あいさつ・報告・発言・要請結果」④に続き、今号には、議員要請結果を掲載します。当日の要請は、衆議院議員全員の事務所を訪れ要請しました。その結果を一覧表にして掲載します。何も言わず受け取ったところ、応答なくポストインしたところなどは省略しました（「面会拒絶」などは収録しています）。

地元での働きかけ、次回の議員要請の際などに活用できる資料となります。

【2～5 ページに一覧表】